

## 職員の声:加古川医療センター薬剤部



骨粗鬆症は加齢や薬の影響などで骨がもろくなってしまう病気のことです。一般の若い年齢の人では考えられないようなちょっとした衝撃だけでも骨折してしまうようになります。骨粗鬆症の高齢者にいたっては、骨折が原因で寝たきり状態になってしまうことも少なくありません。そういった背景から超高齢化社会を迎える今後、骨粗鬆症マネージャーの存在は重要になってくるものと思われます。私は昨年11月の認定試験に合格し、骨粗鬆症マネージャーの認定資格を持った薬剤師として日々業務に励んでいます。今回は、当院における薬剤師の骨粗鬆症マネージャーとしての取り組みについてご紹介します

### 骨粗鬆症マネージャーとは？

骨粗鬆症マネージャーとは、「骨粗鬆症領域における基本知識と技能」を習得したスタッフのことをいいます。この資格は一般社団法人日本骨粗鬆症学会の認定資格で、骨粗鬆症の予防、診断、治療、骨粗鬆症予防のための啓発活動、健康格差の縮小や健康寿命を伸ばすことなど、骨粗鬆症にまつわるあらゆることについて学び活動していきます。現在、看護師、理学療法士、薬剤師、放射線技師、管理栄養士等の職種の約2500人が骨粗鬆症マネージャーとして活躍しています。

### 整形外科病棟における薬剤師の骨粗鬆症マネージャーとしての役割

#### ①骨粗鬆症治療歴の確認

当院の整形外科病棟に入院される患者さんのうち、脆弱骨折（胸・腰椎圧迫骨折、大腿骨頸部骨折、大腿骨転子部骨折）の治療目的で入院された患者さんに対して骨粗鬆症治療介入の有無について聞き取りを行います。骨粗鬆症の治療が開始されていない患者さんに関しては医師と相談し、薬物療法について介入を行います。

#### ②処方された薬剤の説明

医師から処方された薬剤（ビスホスホネート薬、抗RANKL抗体製剤、副甲状腺ホルモン製剤等）について薬剤指導を行います。使用する薬剤の薬理効果や投与期間、投与間隔、副作用、その他の注意すべき事項等について患者さんやご家族に説明します。

#### ③副作用出現の有無を確認

開始された薬剤について、副作用が出現していないか、患者さんからの聞き取りや検査値等から確認します。

記載した病棟での業務の他にも、県民フォーラムや院内で開催される勉強会で骨粗鬆症に関する講義を行っています。

骨粗鬆症は骨折をするだけでなく、生活や人生を変えてしまう可能性のあるものです。骨粗鬆症マネージャーは、介護が必要な生活を予防するために患者さんやご家族、また社会全体へ働きかける役割を担う資格でもあります。今後も薬による治療を安心して継続できるように関わっていきたいと思います。

## 職員の声 淡路医療センター薬剤部

淡路医療センターは淡路圏域の中核基幹病院であり、高度専門医療を担っています。淡路島は高齢化が進んでいる地域でもあり、2015年における淡路島の高齢化率は34.4%と高く、全国平均の15年後の高齢化率と同じぐらいとなっています。

高齢化により増加している疾患の一つに心不全があります。当院でも心不全患者数が年々増加しており、何度も入退院を繰り返す患者も増えています。そこで心不全患者の再入院を少しでも減少させるために、心不全チームとして行っている取組みについてご紹介させていただきます。



### 1. 心不全カンファレンス



当院では毎週水曜日の13時半から心不全カンファレンスを実施しています。カンファレンスには、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、地域連携室スタッフ、MSWといった多職種が参加しています。心不全で入院となった患者をリスト化し、入院前の生活状況や入院の経過、問題点や今後の方針について記載された資料を基に再入院を防ぐための対策などについて話し合っています。主に薬剤師は、常用薬の服薬状況についての情報提供や服薬アドヒアランスを上げるために用法変更の提案、内服管理が難しいような患者であれば在宅患者訪問薬剤管理の提案などを行っています。

### 2. 心保護薬のタイトレーション

心不全治療に使われる $\beta$ 遮断薬やACE阻害薬・ARBといった心保護薬は、忍容性がある限り増量が推奨されています。当院では薬剤師が薬剤管理指導を行ったときに病態やバイタルや検査値を確認して増量が可能と考えられる場合に医師に増量についての提案を積極的に行っています。医師と薬剤師がダブルチェックを行うことで患者にとってよりよい薬物治療を提供できるようになっています。

当院は淡路圏域の中核病院として様々な業務に携わることができます。また、兵庫県立病院全体としては総合病院や専門病院があるため、施設によって様々な経験を積み薬剤師として成長できる環境が整っています。

皆さんも県立病院の職員となってぜひ一緒に働いてみませんか？